

# 顧客分析ツール 活用マニュアル

Ver1.0

2009/12/12

Unexpected Communications

## 1 はじめに

本マニュアルにはアンエクスペクテッドコミュニケーションズ（株）が無料で提供している商圈分析関連ツール (<http://www.un-exp.com/add2pos/>) の活用方法を中心に中小規模商店の顧客分析の手順に関して記載しております。

下記のような経営者の方に活用していただきたいと考えています。

- ・ 売上が伸び悩んでいる、あるいは、下降しているので、まずは足元商圈の確保を行いたい。そのために、現在おかれている状況を分析・把握したい
- ・ 売上は順調だが次の戦略を考えたい
- ・ 新規に開業しようと思っている

本マニュアルを利用することで、次のことを行うことができます。

- ・ 既存顧客のエリア毎の集計
- ・ エリア毎の人口データを把握する
- ・ 販促エリアの検討
- ・ 顧客・商圈分析関連ツールの利用方法を理解する

なお、本マニュアルの手順はそれほど難しくはありませんが、それなりの時間がかかることが予想されます。本作業に時間をかけたくない経営者の方、表計算ソフトにあまり慣れていない経営者の方には低価格な分析サービスを提供していますので、下記でご確認ください。

<http://www.un-exp.com/add2pos/>

## 2 分析の流れ

分析作業は下記の流れで実施します。

①人口データダウンロード

②顧客データの整備

③顧客データの分割・正規化

④集計作業

⑤分析

### 3 人口データダウンロード

近隣住所の人口・世帯数の情報をインターネット上から取得します。データは e-Stat  
(URL : <http://www.e-stat.go.jp/SG1/estat/eStatTopPortal.do>) から取得します。

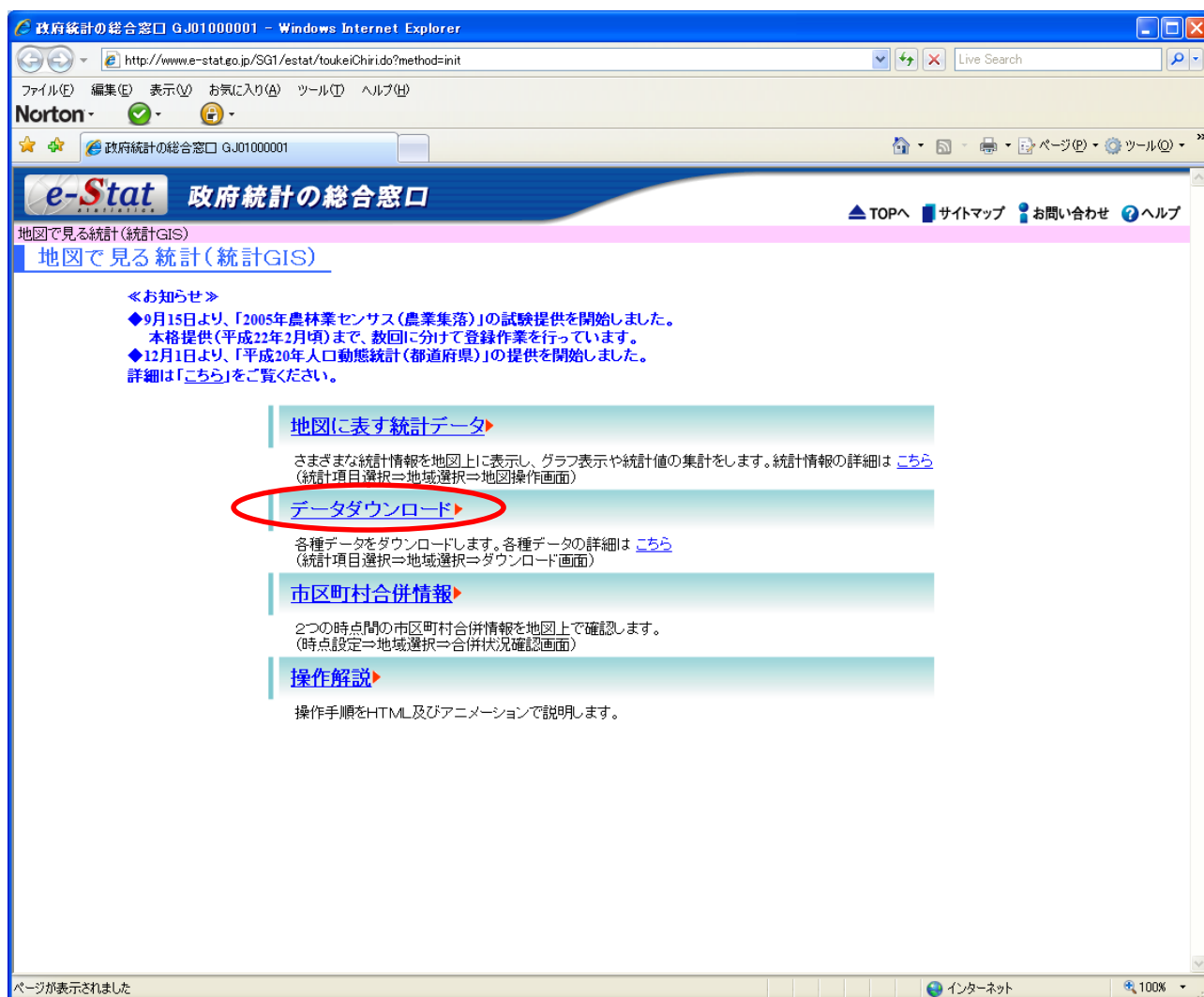
#### 3.1 ホームページへアクセスする

e-Stat のホームページへアクセスし、「地図で見る統計（統計 GIS）」をクリックしてください。統計検索のページが開きます。



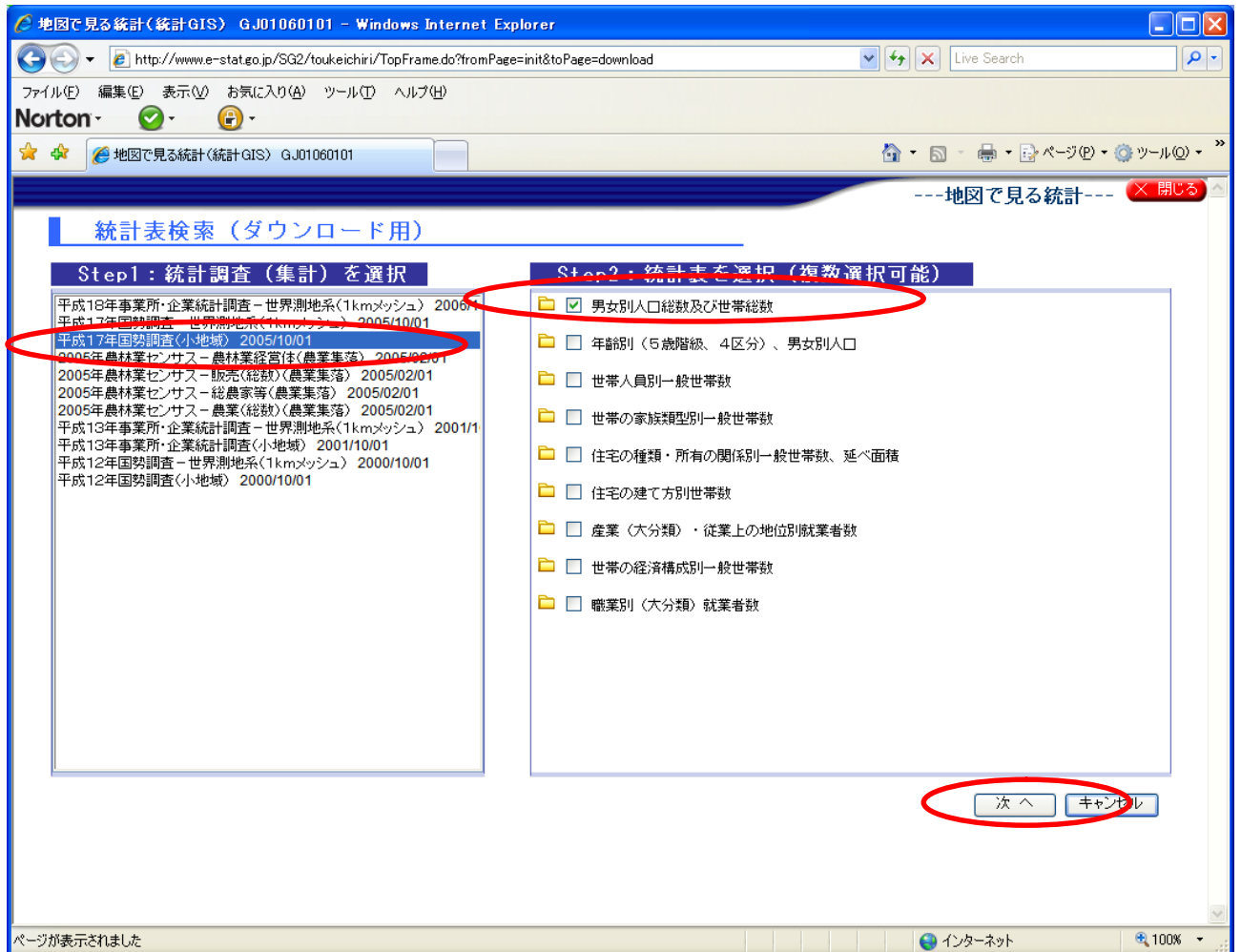
### 3.2 データダウンロードページを開く

「データダウンロード」をクリックし、データダウンロードページを開いてください。



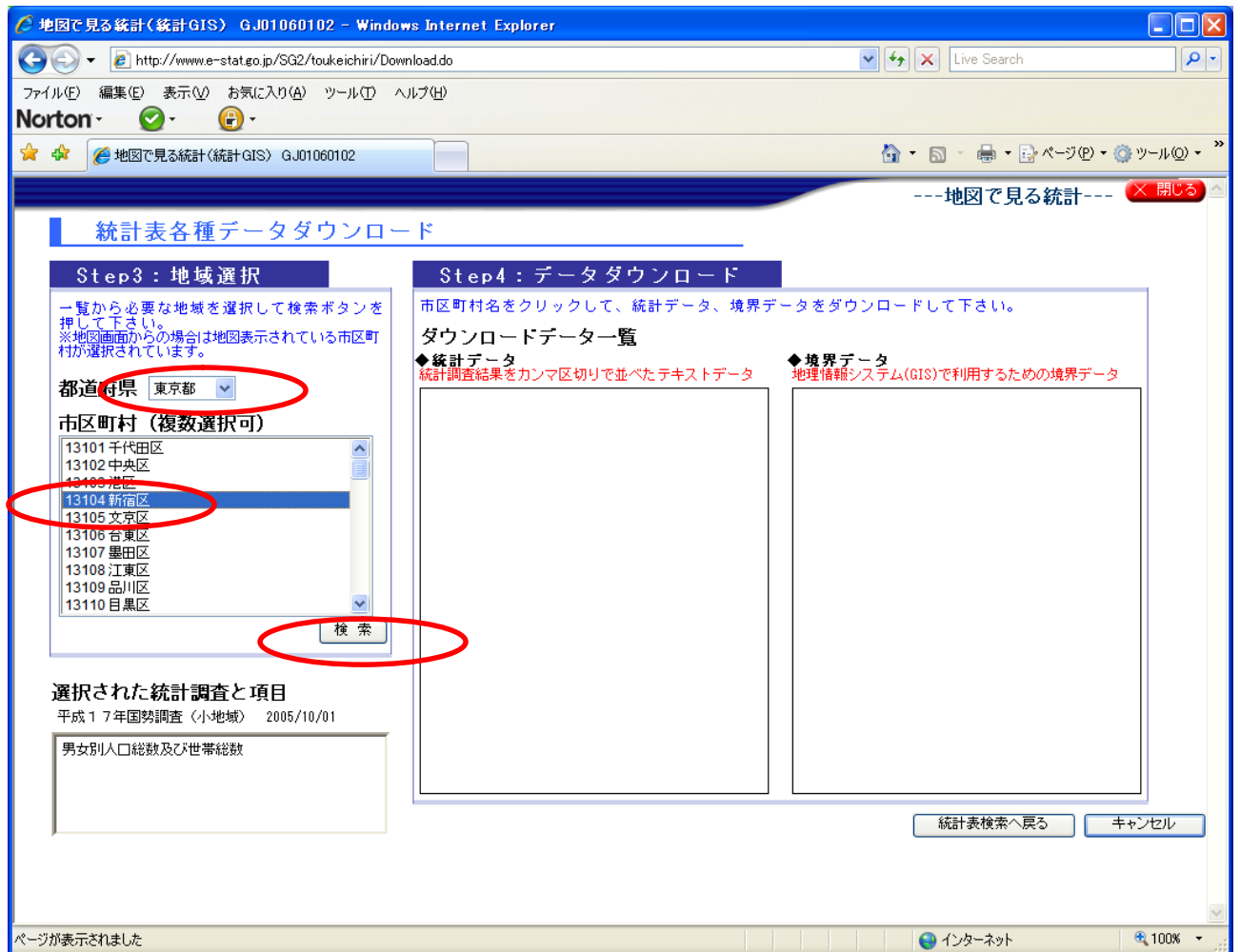
### 3.3 統計調査、統計表を選択する

STEP1 で「平成 17 年国勢調査（小地域）」を選択し、STEP2 で「男女別人口総数及び世帯数」をチェックし、「次へ」ボタンを押します。



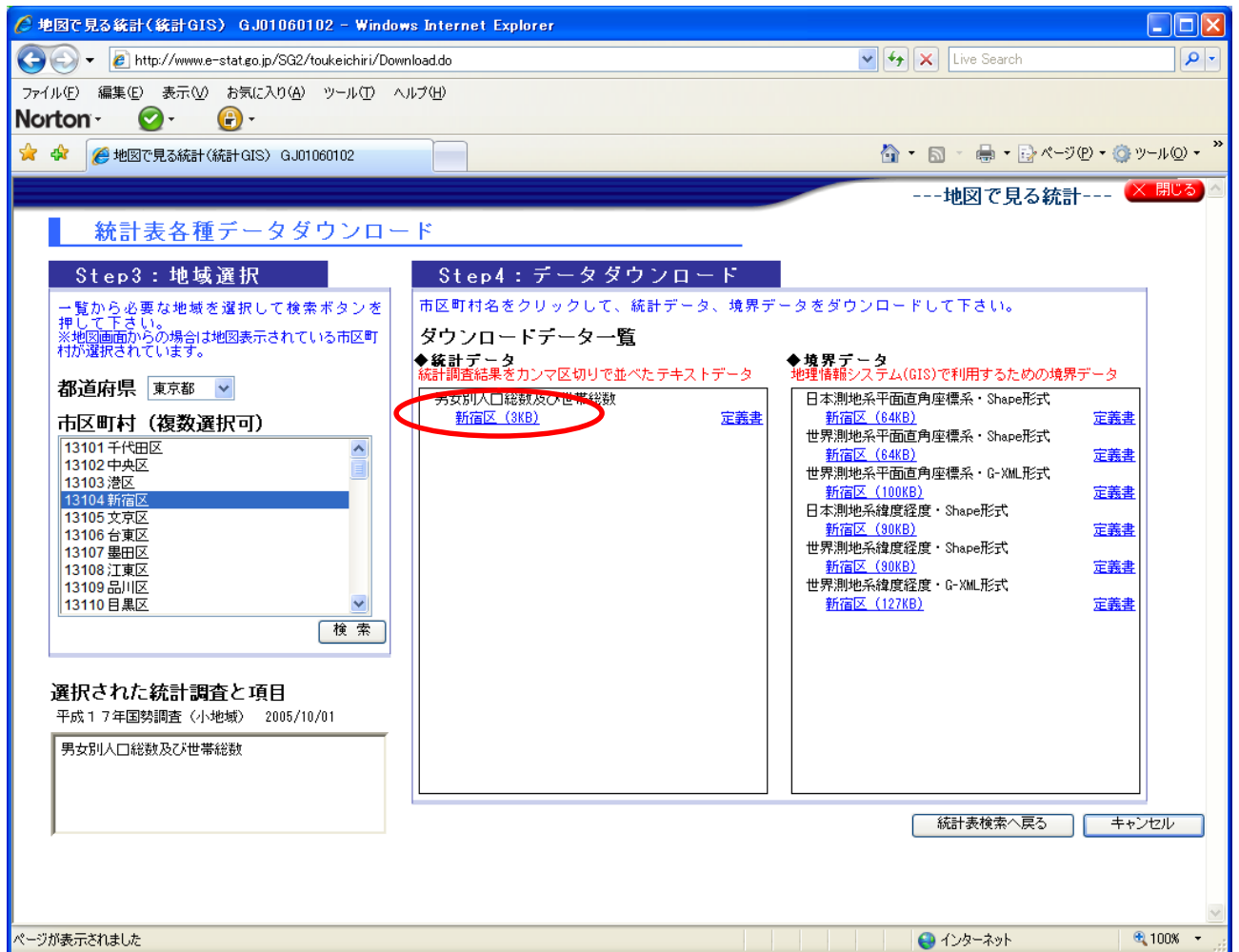
### 3.4 地域を選択

STEP3 でデータを取得する地域を選択し、検索ボタンを押します。地区町村は SHIFT キーを押しながら選択することで複数指定することができます。下記は東京都新宿区のデータを取得する場合の例です。



### 3.5 データのダウンロード

ダウンロードデータ一覧の統計データのリンクをクリックしてください。ファイルのダウンロード画面が出ますので、「保存」ボタンを押してください。任意のファイル名を入力し保存してください。



### 3.6 データの解凍

ダウンロードしたファイル（ここではファイル名を「tblT000050C13104.zip」と仮定します。）は ZIP 形式で圧縮されていますので、解凍してテキストファイルを取り出してください（ダブルクリックし、ファイルを任意のディレクトリへドラッグアンドドロップしてください）。取り出したファイルは「tblT000050C13104.txt」のように拡張子が txt となります。

### 3.7 ファイル名の変更

ファイルは CSV 形式のファイルのため、拡張子を csv に変更してください（アイコンのファイル名をクリックし、拡張子部分の.txt を.csv と変更してください）。今回の場合、「tblT000050C13104.csv」となります。

## 4 顧客データの整備

顧客データの中から住所情報だけを羅列したテキストファイルを作成します。下記のように住所だけが並んでいるファイルを作成し、ファイル名を適当につけてください。ここでは、address.txt と仮定します。

（サンプル例）

address.txt

```
東京都新宿区新宿 3 丁目 1 4 - 1  
東京都新宿区新宿 3-24  
東京都新宿区西新宿 1-24-2
```

（\*）数字は半角、全角どちらでもかまいません。

## 5 顧客データの分割・正規化

### 5.1 分割・正規化サイトの利用

作成した顧客データを分割・正規化ツールを利用して整形します。下記のサイトへアクセスしてください。

<http://www.un-exp.com/add2pos/>

各種ツールのうち、「住所分割」ツールを利用します。「参照」ボタンを押し、顧客住所を入力したテキストファイル（address.txt）を選択してください。そして、「変換する」ボタンを押してください。

Unexpected Communications | ITコンサルティング・中小企業支援・Webアプリケーション開発のアンエクスプレクテッドコミュニケーションズ - Windows Internet Explorer

http://www.un-exp.com/add2pos/

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) お気に入り(A) ツール(T) ヘルプ(H)

Norton

Unexpected Communications | ITコンサルティング・中..

そんなことする時間はとれないという経営者の方は  
顧客分析サービス 9,800円～  
詳しくはこちらをクリック！  
〈本ツールの活用マニュアルも無料で提供中〉

1. 住所分割

テキストファイルに住所を記入し送信することで、住所文字列を都道府県、市町村などの要素に分解することができます。

入力ファイル例  
sample.txt  
東京都千代田区永田町1丁目7-1  
東京都新宿区西新宿2-1-8  
東京都立川市曙町二丁目1-1

出力例（画面表示）  
東京都/千代田区/永田町一丁目/7/1  
東京都/新宿区/西新宿二丁目/1/8  
東京都/立川市/曙町二丁目/1/1

変換

「参照」ボタンでファイルを指定し、「変換」ボタンを押してください。

変換する

(\*)変換結果はブラウザに表示されますので、表計算ソフトにコピーしてご利用ください。  
具体的な活用方法を知りたい方は[フリーコース（無料の活用マニュアル）](#)を提供していますので参照してください。

[さらに]  
システムに組み込みたい方はJava版ライブラリ、または、Excel関数として有償にてご提供しています。  
[→住所分割関数Excel版および住所分割正規化ライブラリJava版はこちらから](#)

2. 住所→緯度経度変換

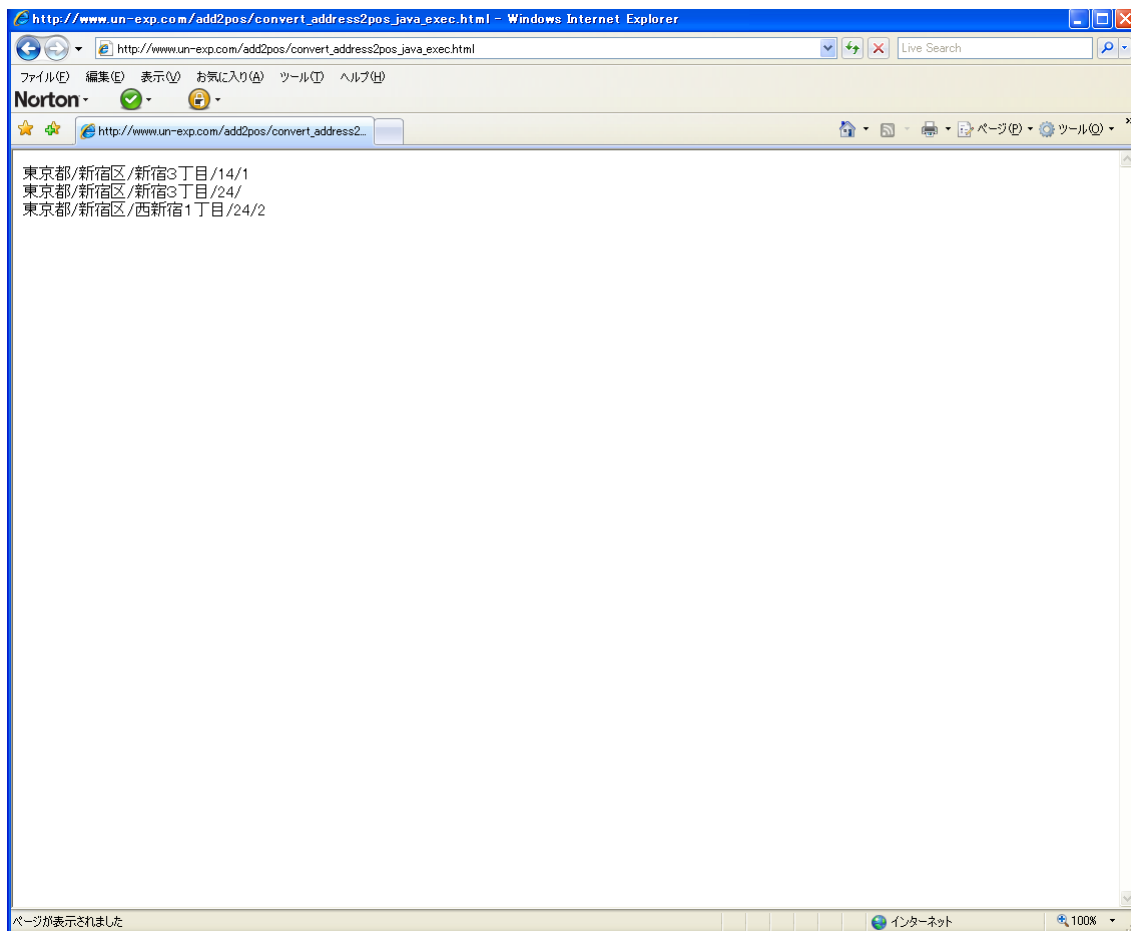
財務分析ツール  
利息率 回転率 同業他社比較  
簡単な項目を入力することで財務状況を分析することができます

お問い合わせ  
提供サービスに関するお問い合わせ、その他ITに関するお問い合わせを無料で受け付けております。

インターネット 100%

## 顧客分析ツール活用マニュアル アンエクスペクテッドコミュニケーションズ（株）

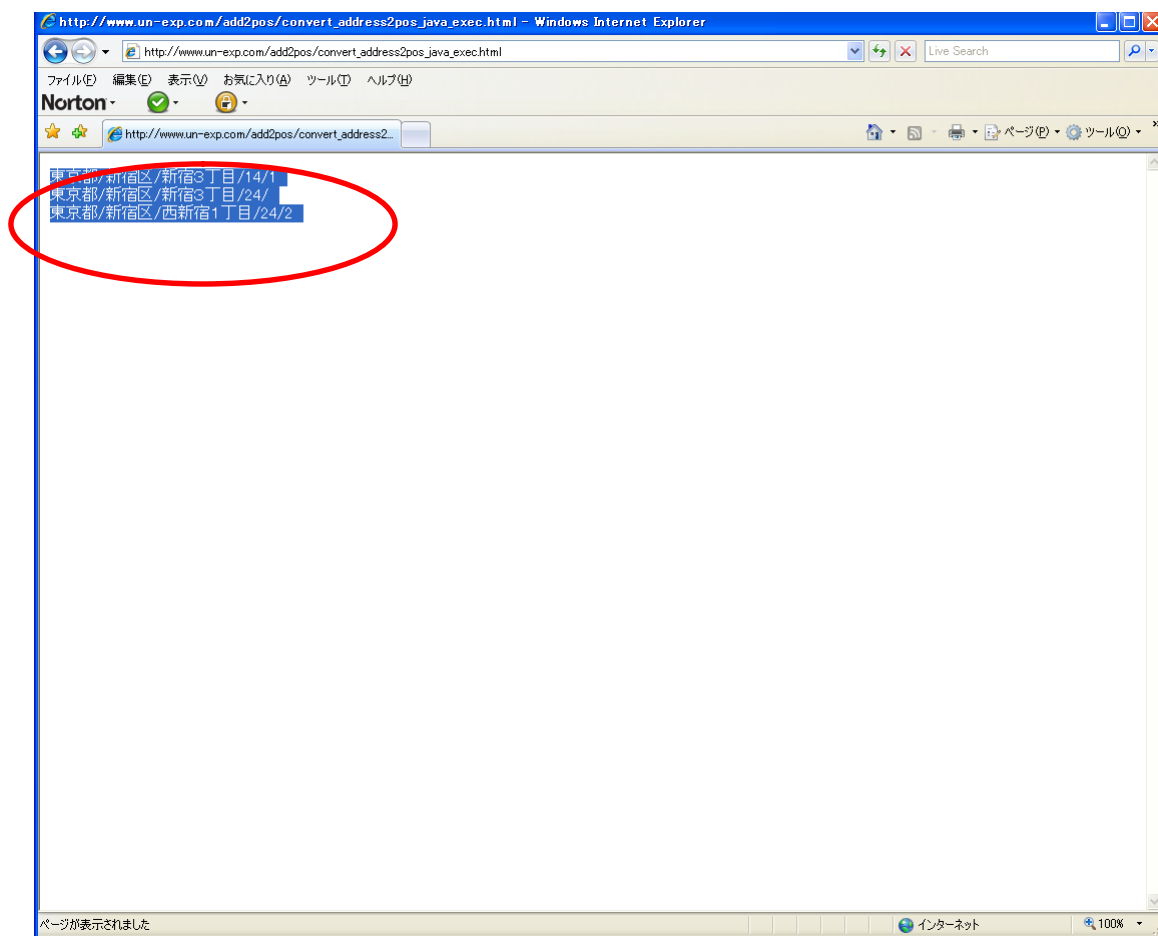
変換が完了すると、下記のような画面が表示されます。住所文字列が区切り「/」で分割されていることがわかります。



## 6 集計作業

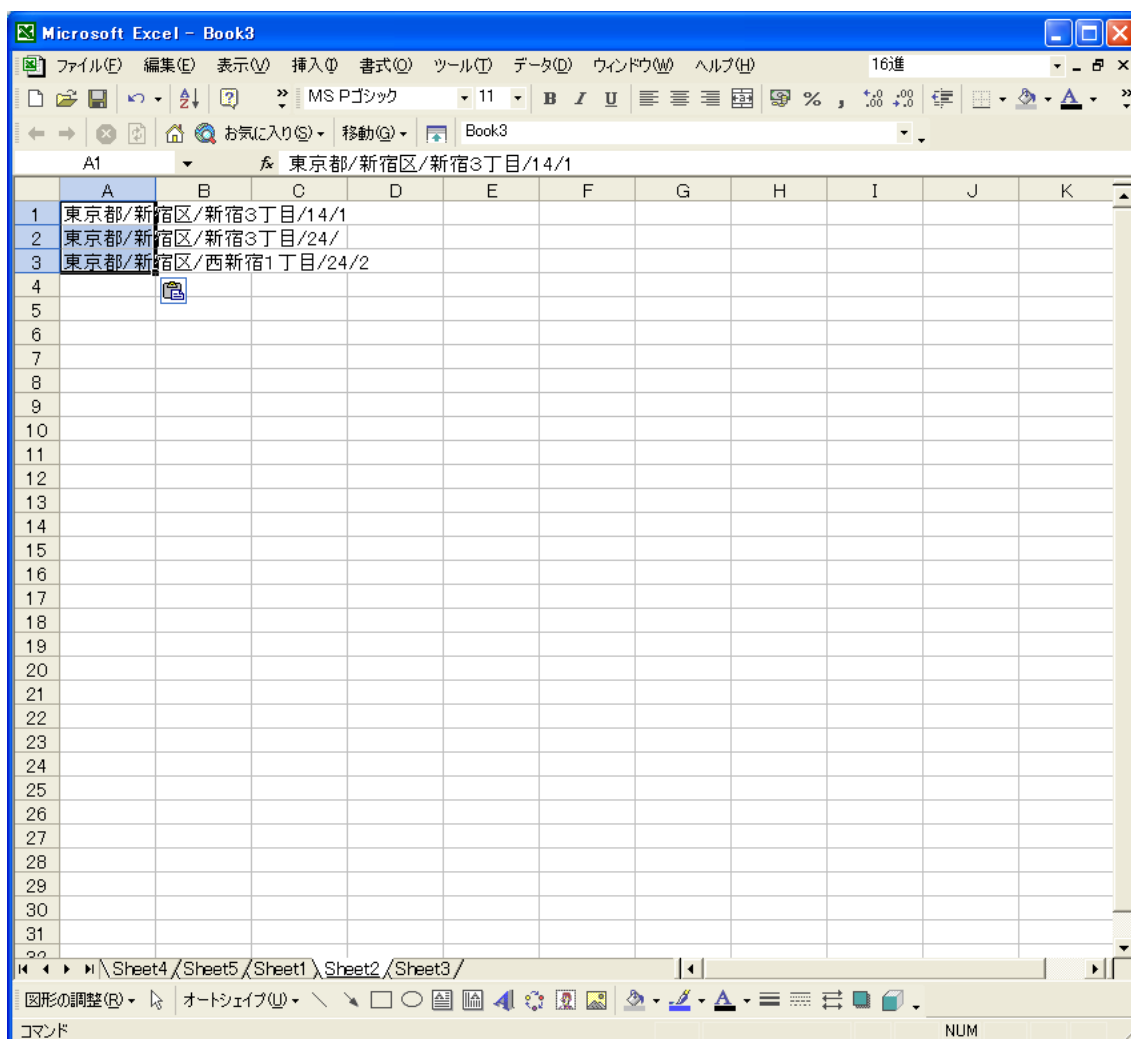
### 6.1 住所データの表計算ソフト（Excel など）への取り込み

分割・正規化ツールを利用して出力された結果をマウスで選択し、右クリックで「コピー」を行います。

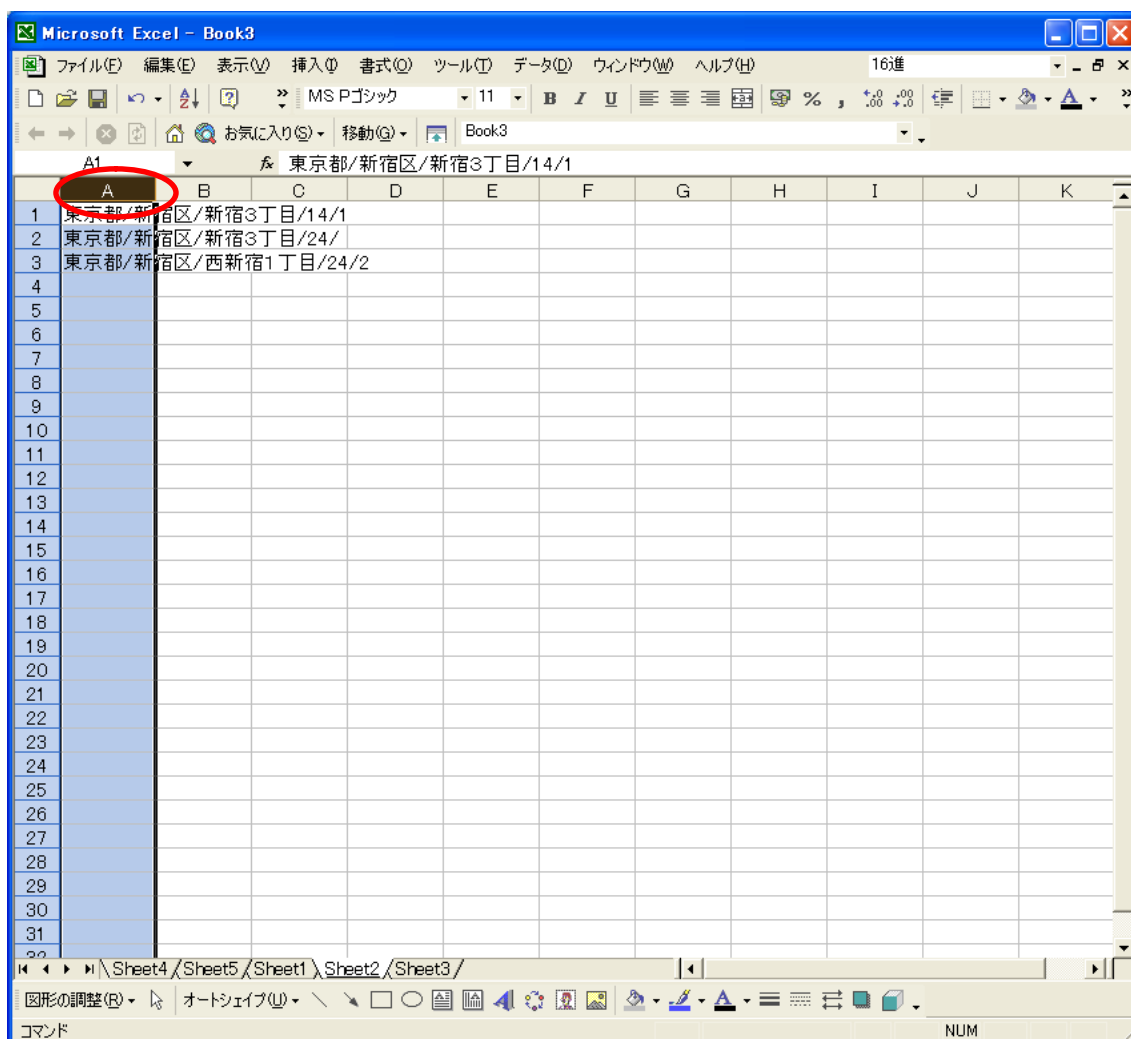


次に、表計算ソフト（Excel など）で新規の Book を開いて貼り付けをしてください。下記のようになります。

顧客分析ツール活用マニュアル  
アンエクスペクテッドコミュニケーションズ（株）



A列を選択し、「データ」メニューの「区切り位置」を選択して下さい。



ウィザードがでますので、「カンマやタブなどの...」を選択し、「次へ」ボタンを押してください。

区切り位置指定ウィザード - 1 / 3

選択したデータは区切り文字で区切られています。  
[次へ] をクリックするか、区切るデータの形式を指定してください。

元のデータの形式  
データのファイル形式を選択してください:

- カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ(D)
- スペースによって右または左に揃えられた固定長フィールドのデータ(M)

選択したデータのプレビュー:

1	東京都/新宿区/新宿3丁目/14/1
2	東京都/新宿区/新宿3丁目/24/
3	東京都/新宿区/西新宿1丁目/24/2

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

区切り文字として、「/」を入力し、「完了」ボタンを押してください。

区切り位置指定ウィザード - 2 / 3

フィールドの区切り文字を指定してください。[データのプレビュー] ボックスには区切り位置が表示されません。

区切り文字

- タブ(T)
- セミコロン(M)
- カンマ(C)
- スペース(S)
- その他(O): /

文字列の引用符(Q): " "

連続した区切り文字は1文字として扱う(B)

データのプレビュー(P)

東京都	新宿区	新宿3丁目	14	1
東京都	新宿区	新宿3丁目	24	
東京都	新宿区	西新宿1丁目	24	2

キャンセル < 戻る(B) 次へ(N) > 完了(F)

下記のように分割されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	東京都	新宿区	新宿3丁目	14	1				
2	東京都	新宿区	新宿3丁目	24					
3	東京都	新宿区	西新宿1丁	24	2				
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									

次の操作のために、G列にA、B、C列を結合したセルを準備します。

例えば、セル「G2」には下記のように入力します。

=A2&B2&C2

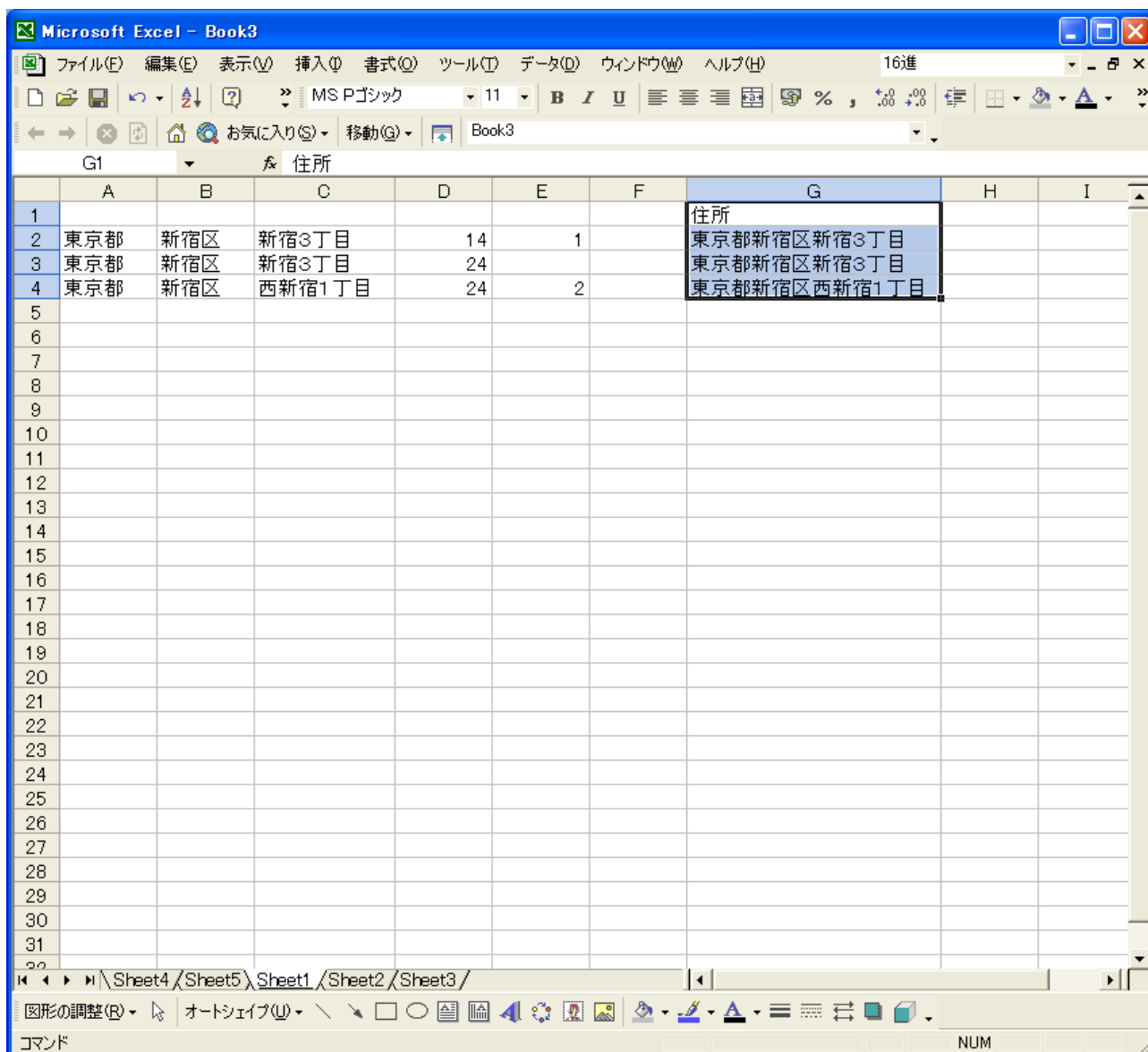
顧客分析ツール活用マニュアル  
アンエクスペクテッドコミュニケーションズ（株）

The screenshot shows a Microsoft Excel spreadsheet with the following data:

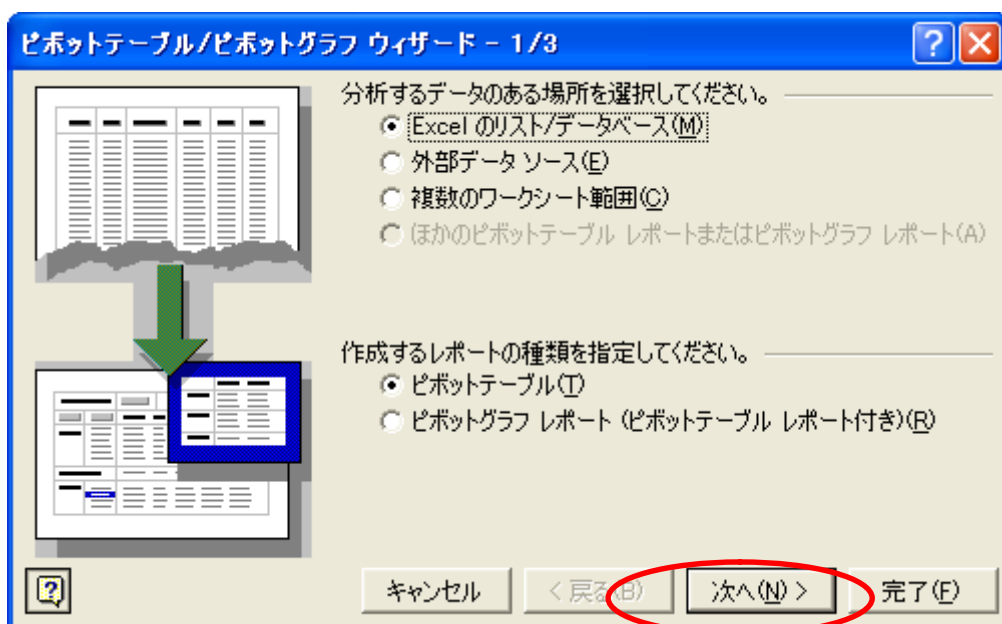
	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1							住所		
2	東京都	新宿区	新宿3丁目	14	1		東京都新宿区新宿3丁目		
3	東京都	新宿区	新宿3丁目	24			東京都新宿区新宿3丁目		
4	東京都	新宿区	西新宿1丁目	24	2		東京都新宿区西新宿1丁目		
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									

## 6.2 住所の集計

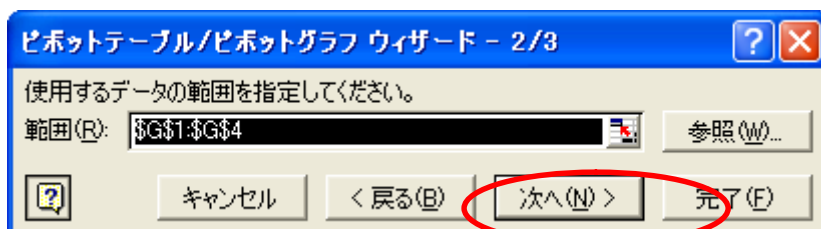
住所毎に件数を計測します。対象のセル（G列）を選択し、「データ」メニューの「ピボットテーブルと...」メニューを選択してください。



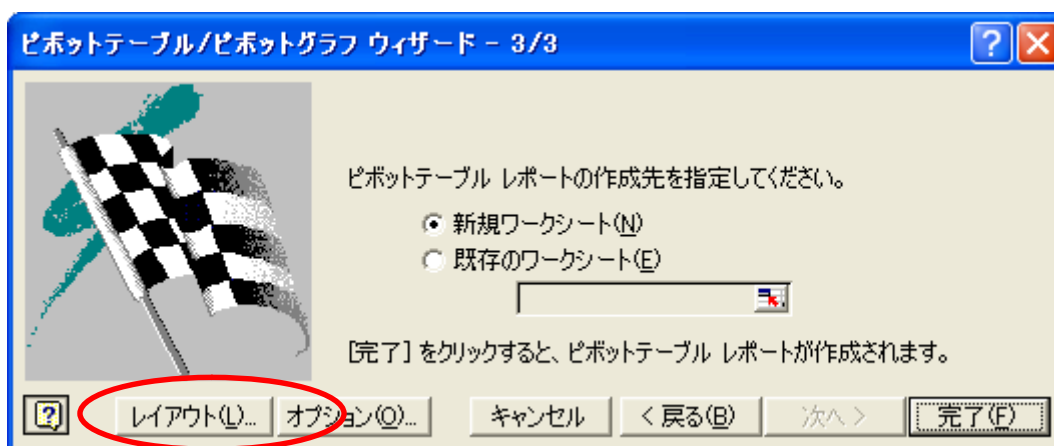
「次へ」ボタンを押してください。



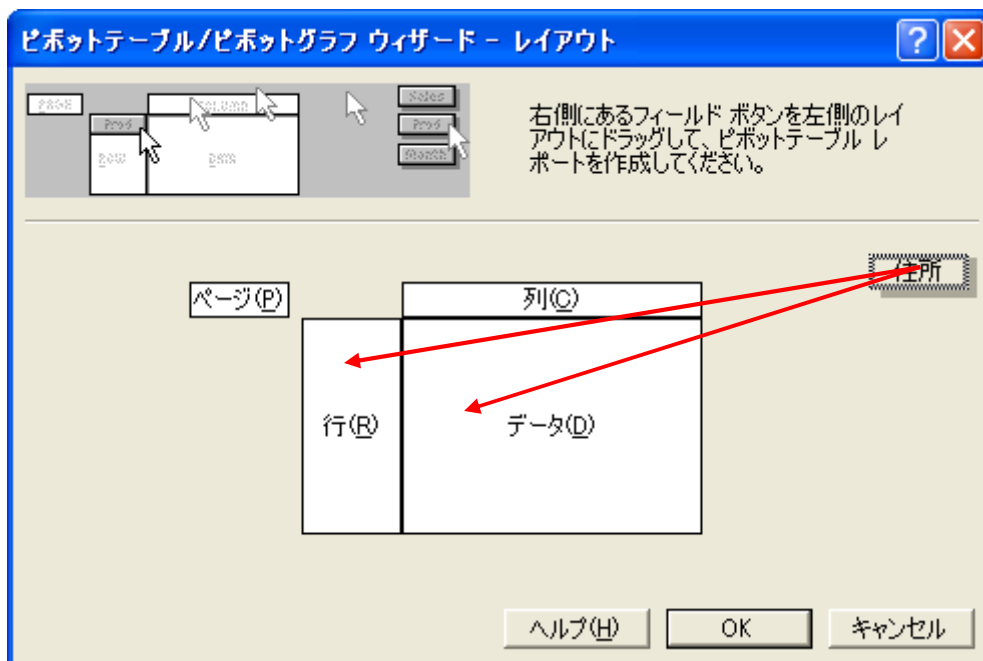
「次へ」ボタンを押してください。



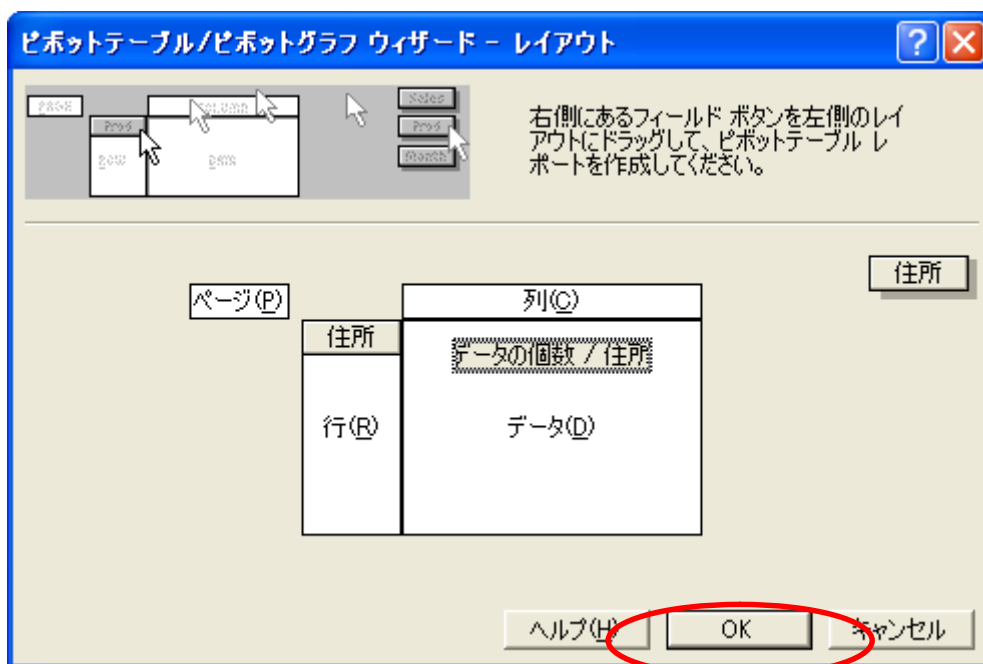
「レイアウト」ボタンを押してください。



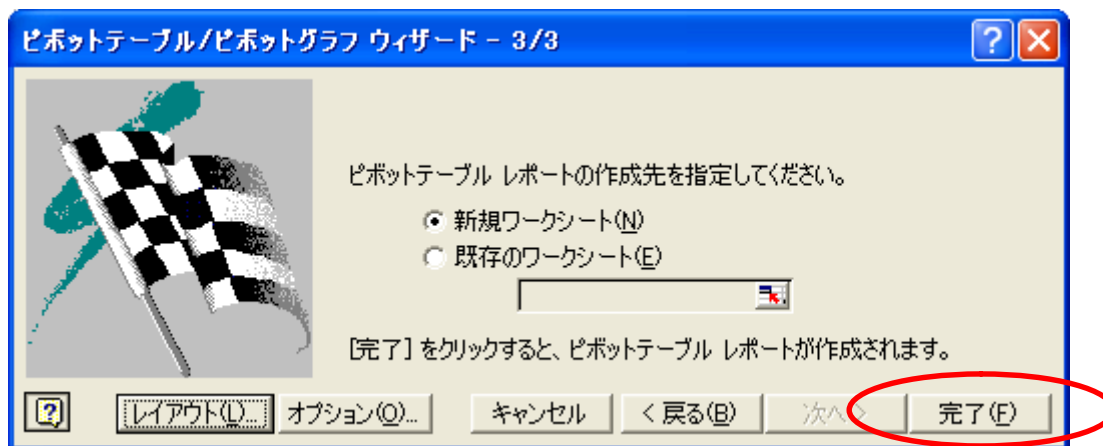
「レイアウト」 ボタンを押してください。下記の画面が開きます。



「住所」「列」のところへマウスでドラッグしてください。  
また「データ」のところへもドラッグしてください。そして、「OK」 ボタンを押してください。



「完了」ボタンを押してください。



## 顧客分析ツール活用マニュアル アンエクスペクテッドコミュニケーションズ（株）

下記のように住所毎に集計されます。これで、既存顧客のエリア毎の人数を知ることができます。

The screenshot shows a Microsoft Excel window titled "Microsoft Excel - Book3". The PivotTable is located in the range A3:B7. The PivotTable has "データの個数 / 住所" as the filter, "住所" as the row labels, and "合計" as the values. The data is as follows:

住所	合計
東京都新宿区新宿三丁目	2
東京都新宿区西新宿一丁目	1
総計	3

Two dialog boxes are open over the PivotTable. The "ピボットテーブル" (PivotTable) task pane is visible, and the "ピボットテーブルの" (PivotTable of) dialog box is also open, showing the "住所" field selected for the report.

## 7 分析

上記のデータに対して、統計情報から対応する人口データを **vlookup** 関数を用いるなどして対応付けることにより、存在している人口、世帯に対する既存顧客の割合を求めることができます。この割合を販促エリア検討に用いたり、売上目標算出につなげることができます。

さらに、周辺の地図、道路、駅などの情報を加味して店舗の商圈を定めることができます。

弊社では単純なデータ処理はもちろん、その結果から今後の戦略をご提案するコンサルティングサービスをご提供しています。ご興味のある方は下記をご覧ください。

[http://www.un-exp.com/service/s0001\\_ana\\_kokyaku.html](http://www.un-exp.com/service/s0001_ana_kokyaku.html)